

# バク通信

11111号

令和二年五月十日発行

社会福祉法人「ゼノ」少年牧場

ゆめサポート・バク

福山市神辺町東中条301-6

TEL (084) 960-2256

FAX (084) 960-2258

「二〇二〇年度自治会会長選挙 中間報告」

サービス管理責任者 松岡 肖幸

四月二十五日に自治会会長選挙を執り行いました。今年度は、六名の方が立候補され、自治会会長選挙が始まって以来の立候補者数となりました。それぞれの方に想いがあり、選挙期間中は会長になったら「大きな声で司会をがんばります」、「みんなが、えがおになれるようにがんばります」など、選挙活動中に各部署を周り、緊張した表情で皆さんの前で演説され、最後に「私に一票入れてください」と大きな声でアピールする姿がありました。

選挙当日はコロナウイルスの影響で半数以下の通所人数となり、大多数の方は期日前投票となりました。いつもの大きな賑わいのなが行われる選挙とは打って変わり寂しい選挙となりました。選挙期間前よりお休みをされている利用者の方もおり、全員投票を終えることができていないため自治会長はまだ決定しておりませんが、選挙を一旦終えた利用者の方より「楽しかったです。また来年も出たいです」ともう次への意気込みを聞くことが出来ました。



## 今年度の自治会長は…！！？

投票よろしくお祈りします！

一人一球(一票)を投入(投票)！



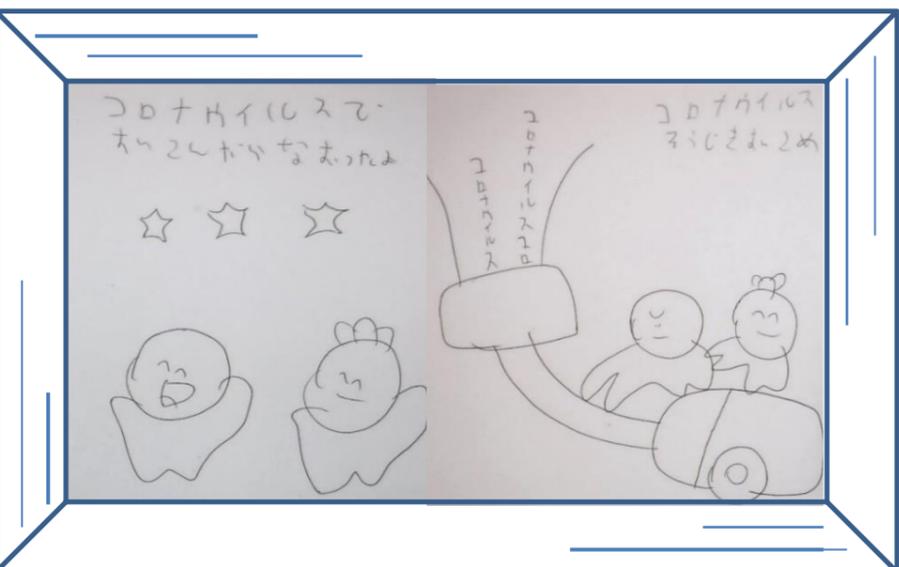
コロナウイルスにより、不安が広がる状況のなか、自治会活動も縮小し、例年のような活動が出来てはいませんが、少しでも日々を楽しみ、笑顔絶やさず通所をしていくことを皆さんと、今、できうる活動を考えていきたいと思います。自治会会長は来月決定する予定となっています。乞うご期待。



## 「感染予防のために」

生活支援員 柴垣 瑞穂

新型コロナウイルスの脅威がおさまらない今、十人十色では出来る限りの感染予防を行っています。  
①手洗いとマスクの徹底。手洗いとマスクなんて当たり前、と思われるかもしれませんが基本的なところを利用者さんと一緒に確認しながら行っています。  
②アルコール消毒、次亜塩素酸での拭き上げ。弁当箱はもろんのこと、台の上などもしっかりと消毒をしています。  
③換気。二十四時間換気扇はつけたまま、午後の掃除の時間は、窓を開けた換気も行っています。  
これからの時季、感染予防に加え食中毒にも注意し、皆様に安心安全なお弁当をお届けできる様、努力してまいります。よろしくお祈りします。



バクでのお弁当の配達や買い物に行けなくなり、たくさんの楽しみを我慢している十人十色のTさん。コロナウイルスがいなくなり、今まで通りの日常生活に戻ることを願って絵を描いてくれました。

## 「コロナショック！」

サービス管理責任者 松岡 肖幸

新緑の匂い立つ、好季節となりました。暖かい日が続いており、アルコジャーノは例年而言うと、一年で一番忙しい時期となります。ですが、コロナウイルスの影響もあり、イベントは全て中止、御先のお客様も例年になく注文が少なくなっている状態です。そのため売り上げが昨年度四月と比べて七割減となり、非常に厳しい状況となっています。少しずつですが、ウイルス対策を実施しながら製造を続け、売り上げを確保するための方法を考えているところでもあります。利用者の方たちのやりがいや役割をなくさないためにも、そしてピンチをチャンスに変えていくために、空いた時間を新たな顧客開拓と新フレーバーの開発を進めています。  
夏のギフトには新たなフレーバーをお届けできると思いますので、是非アルコジャーノのジェラートをよろしくお祈り致します。



試作：パイナップル

しっかり消毒、きれいにカット！

「草とともに生きよう」

生活支援員 堀井 康臣

三月末から四月にかけて人參の種を撒きました。人參は発芽すると七割は成功したと言われています。一週間から十日前後たつと徐々に芽が出始めてきました。そのかわいい芽を見てホッと胸をなでおろしました。

しかし：それもつかの間：次なる敵か味方：それは草達です。出始めたばかりのちっちゃい人參の葉は人間でいうとまだ赤ん坊です。日光に当ててあげないと成長出来ず枯れてしまいます。その日光を遮るのがスギナやヨモギの草達です。

でも、そこは自然栽培です。草達とも共存をしていき、日光を遮っているところだけ草取りを地道に進めていきます。草より人參の芽が大きくなって無事に成長していくまで草取りと水やりを利用者の皆さんと頑張っています。

カエルや、蝶々の姿を見かける事が多くなったよ～  
モグラのトンネルも発見…



キアゲハ蝶が卵を産み付けにやってきました(-\_-)



一輪車で水を運びます。  
重いけど頑張ってます！！



「ウエス工場は三密とは無縁？」

生活支援員 藤井 みゆき

二〇二〇年度の幕開けは、新型コロナウイルス感染症予防対策と共に始まりましたが、工場内は年中窓を開け、換気をしながらの作業と、お互いの持ち場が離れている事に助けられています。職員も利用者も、体調不良とは無縁で、毎日元気いっぱい作業をしています。

そんな中、素敵なオリジナルマスクを見かけるようになりました。大好きな新幹線やマリオの布で作った物や、オシャレなタイプ・可愛い花柄等々、保護者の方の優しさが伝わってきます。

いつまで続くか分からない状況下に、戦々恐々としながらも、日々しつかり過ごして参りたいと思います。



みんな素敵なおマスク！！

「四月の作業風景」

生活支援員 藤津 翔子

春の日差しが心地よい毎日が続いていますね。コロナウイルスの影響が続いている状況ですが、皆さん安心して毎日を送れることを日々願っています。

さて、療育班では、そんなコロナウイルスに負けたまるかと利用者も感染予防に努め、作業や活動に参加されています。写真は、ウエス作業中の利用者の姿です。互いに距離を取りながら個々にあったやり方で作業されています。一時間で目標のウエスのボタンをとられる方、職員にウエスを渡される方、職員の手添えでウエスの飾りをゴミ箱に捨てられる方、それぞれ自分に合ったやり方で作業を行っています。自粛生活が続いています。少しでもバクでの作業や活動にやりがいや楽しさを感じてもらえたらと思います。



自助具を使ってボタンをドンドン取っていきます！



◎5月16日(土) 土曜開所  
◎5月30日(土) 土曜開所



※当初予定されていたうんどう祭り、球技大会が中止となり上記土曜日が開所日となっています。

特別企画

今、頑張っているあなたへ「ありがとう」を伝えよう

息苦しいけどマスクをつけてくれているあなたへ「ありがとう」

外出したいけど、とどまってくれているあなたへ「ありがとう」

会いたい人に、会うことを辛抱してくれているあなたへ「ありがとう」

コロナウイルスの感染を広げないために、今日もどこかで小さな我慢を続けているあなたへ心から「ありがとう」



うちでずごそう しょうくしょう かんきをしよう

